

「教育用語辞典」第19回目です。今回は選択問題です。文中の「 』に入る適当な言葉はどちらでしょうか。選んでみてください。職員室での憩いのひとときにとぎにとぎぞう。

【ソーシャルスキル】

「ソーシャルスキル」

レベル★

直訳すると「社会的技能」。人が円滑な社会生活を営む上で必要とされる、良好な①【対人関係・友人関係】を築くためのスキル。相手の気持ちや状況を尊重しながら、自分の気持ちや状況を上手に相手に伝えるための様々な技能で、訓練によって高められると考えられている。近年は、ソーシャルスキルが不十分なことによる子ども同士のトラブルも発生していることから、②【ソーシャルワーク・ソーシャルスキルトレーニング】を取り入れる学級や学校も見られる。

【大学院修学休業制度】

「だいがくいんしゅうがくきゅうぎょうせいど」

レベル★★★

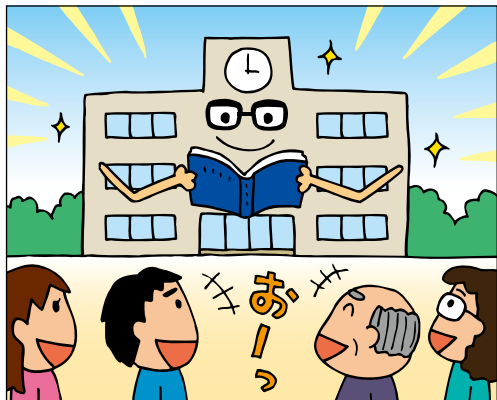
教員が国内外の大学院に在学して、専修免許状を取得する機会を拡充するために創設された制度。平成十三年度より開始された。公立学校の教員（教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師）で、一種免許状又は③【特別免許状・二種免許状】を有する者は、任命権者の許可を受けて、専修免許状を取得するため国内外の大学院へ在学し、その課程を履修するための休業をすることができる。期間は、一年を単位として④【二年・三年】を超えない範囲。休業中は給与は支給されない。

【学習する組織】

「がくしゅうするそしき」

レベル★★★★

ラーニング・オーガニゼーション。目的を効果的に達成するために、組織に所属する人々が自発的に学習に取り組み、メンバー及び組織全体の⑤【能力・ノルマ】と意識を伸ばし続ける組織。マサチューセッツ工科大学のピーター・センゲ教授の著書「THE FIFTH DISCIPLINE」を契機に広まった。元々、ビジネスの分野での研究や実践だが、教育の分野での取り組みも見られ、その場合、「学習する⑥【教室・学校】」と呼ばれることもある。



【解答】

- ①対人関係
- ②ソーシャルスキル
- ③特別免許状
- ④三年
- ⑤能力
- ⑥学校